○第６期メンタルヘルス法務主任者資格認定試験
[基礎問題]

【産業保健（１）】
（１）次の文章のうち、適当なものの組み合わせを選んで下さい。（配点７）
（ア）職場でのメンタルヘルスケアの推進においては４つのケアの重要性が知られている。その一つは「事業場内産業保健スタッフ等によるケア」であるが、この「等」のなかには人事労務管理スタッフが含まれている。
（イ）衛生管理者は、メンタルヘルスに関する個人情報（診断書等を含む）について閲覧できる権限はない。
（ウ）労働者が「がんの治療を受けながら就業継続」できるための両立支援の活動は、１次予防・２次予防・３次予防の観点で分ければ３次予防の活動になる。
（エ）国立がん研究センターが公表したデータによれば、２００８年時点での生産年齢人口（15 歳－64 歳）におけるがん罹患者数は、60 歳ごろまでは男性労働者よりも女性労働者の方が多い。

① アとイ　②アとウ　③ウとエ　④エのみ

【産業保健（２）】
（２）ストレスチェック制度に関する説明のうち、適当なものの組み合わせを選んで下さい。（配点７）
（ア）高ストレス者（高得点者）となった者は、メンタルヘルス不調の予備軍なので、実施者は就業上の措置等何らかの配慮の対象者と考えねばならない。
（イ）産業医が実施者である場合には、当該産業医が、高ストレス者の判定基準となる点数を決定する権限を持つ。
（ウ）面接指導後、医師が受検者への就業上の措置（例：残業制限が必要等）を事業者に提言した場合、事業者は当該措置を行った場合はその内容を、行わなかった場合は行わなかった旨とその理由を当該産業医に情報提供しなければならない。
（エ）実施者でも共同実施者でもない産業医は、事業者と同じく、個人のストレスチェックの結果を見ることはできない。

① アとイ　②アとウ　③ウとエ　④エのみ

【精神医学】

（３）次の文章のうち、適当なものの組み合わせを選択してください。（配点７）

（ア）職場で労働者の自殺が起きた場合、その自殺に影響を受けた社内の労働者をケアし、群発自殺の発生を防止するための対応が必要となる。この対応は、一般的に、『インターベンション』と呼ばれている。

（イ）自殺のリスクが高い労働者に対しては、援助者が、その者の自殺念慮に対して心配し関心を持ち続けることに加え、その苦悩に共感を示すことで、自殺遂行のリスクを減じ得る。

（ウ）職場で労働者が自殺したため、それまで交友関係が全く無かった同僚までもが、その影響を受けてしまった場合、援助者は、その労働者に対し、それが正常な反応であり、無理に感情を抑え込む必要が無いことを教示することが望ましい。

（エ）「死にたい」と訴える労働者には、援助者が、断定的に「絶対に死んではいけない」と説得すべきであり、『自殺しない約束』をしておくことで、当該労働者の自殺を防止することができる。

①アのみが正しい。
②アとイが正しい。
③イとウが正しい。
④ウとエが正しい。
⑤アとウとエが正しい。

【企業経営とメンタルヘルス】

（４）次の文章のうち、適当でないものを１つ選んで下さい。（配点７）

①企業におけるメンタルヘルスの推進は、職場の生産性向上や、逸失利益の低減などを通じて、企業の利益に貢献する可能性がある。

②職場のメンタルヘルスを効果的に進めるには、様々な視点から職場環境を整える必要があり、社員自身もストレス耐性を高め、周囲と円滑なコミュニケーションが図れるスキルを身に着けるなどの努力を行う必要がある。

③職場の問題を解決するためには、「問題の抽出、原因の特定、施策の立案」のプロセスを遵守すると効果があがり易い。

④スウェーデンの心理学者ロバート・カラセックが提唱した、「仕事要求度・コントロールモデル」は、アブセンティズムやプレゼンティズムなどの指標を用いて仕事の要求度を測るものである。